

●有名なる音楽家の報酬

パデレウスキーは一

回の獨奏に一万圓の報酬を得れども興行主は此多額の報酬を支拂ひて尙莫大なる利益を得るを常とす。バツチー夫人は二回の獨吟に一万圓を得クラ、バツト嬢は二日間に三千圓クベリックは一回に五千圓イサエは一回の獨吟に二千圓を得と云ふ。

●色を以て精神病を治療す

紐育のポンド及び

モネツトの兩醫士は同地ワード島の婦人病院に於て精神病患者に對し目下新治療法の實驗中なるが此治療法は單に色を用ふるに在りて例へば粗暴なる精神病者は壁を始め總て室内の器物を悉く黒色に塗りたる室に置き以て其精神を和らげ又激しき幽鬱症の人は總て赤色に塗りたる室に置き自から精神を快活ならしむる等患者の種類に依り種々の色を用ふるものなりと云ふ。

●教員檢定本試験問題 (承前)

●英語科

GRAMMAR.

1. Translate into English :

- (a) 貴君は月に三度位は手紙を下まつてもよさそうなものです。
- (b) 平生威張つて居る人に限つていざさなるさ真先に逃げ出すものだ。
- (c) 日本の今日あるは外國語の研究大に與つて力あり

●遣英美談 遣英申特に兵員を感激させたのは、文筆にも達者な金波樓主人、即ち子爵小笠原少佐が、五百金を投じて自轉車一輛を買ひ、一水兵に其の保管を命じた、イツカ艦内大掃除の初、水兵は此の自轉車を荷つたまゝ、轉廠してメチャクに之を壊した、恐るゝ此事を小笠原少佐に詫ると、ソーカお前に怪我の無かつたのは仕合せトやと言つて、其後自轉車の事は露ほども口に出さぬ、流石に品位に富める華族の行ひさいふべく、一艦聞き傳へて皆感涙を催ふしたとのことである (日本)